

## 子ども達にとって安全な保育園とは

先日、保育士のキャリアアップのため、『安全危機管理研修』に参加しました。

子ども達の安全を守り、危機的状況が起こった時の対応や、そうならないための対策などを学ぶ研修で、保育現場の安全について知識を深めました。

今回はその中でリスクとリターンについてお話しします。

どのようなこともリスクとリターンがあり表裏一体とされています。

リターンとは利益。その利益を手にするための代償がリスクです。

リスクとリターンは基本的には大きさは同じですが、リスクはコントロールすることができます。

その方法をリスクマネジメントと言いますね。

どのような保育内容でもリスクは伴うので、現場では上手に付き合っていくことが必要不可欠になります。

それでは保育の一場面を切り取って見てみます

### 【ハサミの活動】

ハサミの活動は1歳児クラスから取り入れています。

乳児には危険な道具、と思われるかもしれませんが、『友達に刃先を向けてはいけないこと、気を付けないと自分の指も切れてしまうこと』を話し、保育士が正しい使い方を見せて伝えます。

もちろん乳児クラスでは慣れるまで保育士が傍に付きます。

ハサミは手を使う活動なので、指先の動きも獲得しますし、手を動かしながら切る、という二つの動作をすることで脳の刺激にもなります。

マジヨラムになると対象切りや紙以外の素材を切るなど、年齢や発達に合わせて難易度が上がっていきます。

子どもが自由に活動出来るよう、幼児クラスはハサミを直ぐ手に取れる場所に用意しています。

『子どもにとって危険だからやらない!』ではなく、発達や成長（リターン）を考え、ケガや事故を防ぐためにどのように行うのか、を考えて環境が用意されています。

日々の保育内容というのは、意味と目的、効果を常に考えてリスクとリターンのバランスをみながら行っています。

さて、リスクを小さく抑えるためにはリスクマネジメント、安全対策が大切になってきます。

この対策の実施後は効果の確認を行い、改善の必要があれば改めて対策を立て直し、再度実施します。いわゆる「PDCA サイクル」ですね。

**「P=Plan（計画）」「D=Do（実行）」「C=Check（検証）」「A=Action（行動）」**

この項目の継続的な改善によって、リスクを最小限に抑えるようにしています。

今回の研修を通して【子ども達の安全な環境】とは…

保育士一人ひとりが危機管理、リスクマネジメントを意識し、子ども達の発達にあった保育、またその先の成長を見据えた保育を展開していくこと。

そして保育士の質の向上や知識のアップデートを今まで以上に行っていくこと、を改めて認識しました。危険だから、と子ども達のチャレンジする機会、成長する機会を奪うことのないよう、今後もリスクマネジメントをしながらバランスをとった保育を展開していきます。

進藤真衣